

さとうきび増産に向けた取組の実績及び評価

沖縄県本島中部

うるま市、沖縄市、宜野湾市、浦添市、嘉手納町、
北谷町、西原町、読谷村、北中城村、中城村

増産プロジェクトにおける令和4年産生産計画の達成状況及び今後の取組状況

生産計画の
達成状況等

1 令和4年産の生産実績

	収穫面積 (ha)				単収 (kg/10a)				生産量 (t)			
	夏植	春植	株出	計	夏植	春植	株出	計	夏植	春植	株出	計
H27年産実績	104	73	439	615	6,097	4,567	4,821	5,006	6,321	3,311	21,150	30,782
H28年産実績	119	59	424	602	7,250	5,380	5,595	5,902	8,652	3,188	23,702	35,542
H29年産実績	99	49	418	566	6,958	4,827	5,034	5,352	6,890	2,381	21,026	30,297
H30年産実績	83	54	382	519	6,322	4,633	4,412	4,742	5,270	2,481	16,859	24,610
R元年産実績	75	40	325	440	6,080	4,094	4,192	4,505	4,568	1,644	13,631	19,842
R2年産実績	89	53	310	451	6,529	4,707	4,974	5,249	5,781	2,475	15,403	23,659
R3年産実績	75	50	323	448	6,627	5,298	4,821	5,178	4,993	2,635	15,570	23,198
R4年増産計画	90	50	400	540	6,600	4,300	5,200	5,400	5,940	2,150	20,800	29,160
R4年増産実績	86	50	327	463	7,053	5,152	4,912	5,338	6,076	2,559	16,081	24,716
(対計画比%)	(95.6)	(100.0)	(81.8)	(85.7)	(106.9)	(119.8)	(94.5)	(98.9)	(102.3)	(119.0)	(77.3)	(84.8)
(対前年比%)	(114.1)	(100.5)	(101.3)	(103.3)	(106.4)	(97.2)	(101.9)	(103.1)	(121.7)	(97.1)	(103.3)	(106.5)

2 その他指標の動向 令和3年産→令和4年産

・株出栽培の割合 72.1% → 70.6% ・さとうきび作農家戸数 1155戸 → 1078戸
 ・平均糖度 14.9度 → 14.1度

<p>増産目標に対する位置づけ</p>	<p>令和4年産 生産計画及び実績については、以下のとおりであった</p> <table border="1" data-bbox="548 215 1153 311"> <thead> <tr> <th></th> <th>収穫面積</th> <th>単収</th> <th>生産量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(計画)</td> <td>540ha</td> <td>5,400kg/10a</td> <td>29,160t</td> </tr> <tr> <td>(実績)</td> <td>463ha</td> <td>5,338kg/10a</td> <td>24,716t</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和4年度の実績は収穫面積目標560haに対し実績は463ha(計画比83%)、単収目標5.5t/10aに対し実績は5.3t/10a(同96%)、生産量目標30,470tに対し実績は24,716t(同81%)と達成できなかった。</p> <p>今期は前期収穫時から降水量が多く、春植や株出管理が遅れた。夏植えについては降水量が多く、日照時間が減少し、品種によってはさび病等の発生で生育遅れも見られたが、夏植全体としては原料茎の伸びもあり単収は向上した。8月下旬から9月にかけて台風11号、12号の接近もあったが、折損茎の発生は少なかったものの葉片裂傷が目立った。9月中旬、10月上旬にまとまった降雨があり、日照不足から生葉の回復遅れで登熟が遅れ、製糖期に入っても基準糖度に達していない状況にあった。作型別では夏植と春植の単収が目標を越えて収穫面積の減少を補ったが、株出の単収が低かったので生産量が伸びなかった。収穫の約7割を占める株出の単収を上げることで生産量を目標に近づけられる。</p>		収穫面積	単収	生産量	(計画)	540ha	5,400kg/10a	29,160t	(実績)	463ha	5,338kg/10a	24,716t
	収穫面積	単収	生産量										
(計画)	540ha	5,400kg/10a	29,160t										
(実績)	463ha	5,338kg/10a	24,716t										
<p>課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 株出管理、肥培管理、雑草防除作業を適期に行う受託組織の育成 ② ハーベスターの老朽化や故障による製糖期のハーベスター稼働調整、応援 ③ 原苗圃の雑草、メイチュウ発生防止管理の徹底による良質苗の生産 												
<p>令和5年産における取組方針</p>	<p>主なさとうきび生産振興策として</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地区協議会事業でハーベスター収穫後の株出管理作業の受委託を支援し、適期管理による単収向上を図る ② うるま市における葉たばこからさとうきびへの転作及び石川地区での急激な面積拡大に対応した小型ハーベスターの導入(R6年度) ③ 原苗ほ設置が困難な市町村の苗ほを中部地区きび協が主導して、一元管理できるよう各市町村と調整、実施 												

(1) 経営基盤の強化

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																																																						
<p>① 効率的なさとうきび経営の育成と労働力の確保</p>	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うるま市宮城、伊計島の葉たばこ廃作に伴う広大な畑地へビレットプランターと全茎式植付機による省力的植付を実施 ・中部地区きび協が仲介し、高齢化で栽培放棄された土地を若い担い手に借り換えさせ、栽培面積を拡大 ・荒廃農地の開墾、排水対策を行って農地を確保し、種苗圃を設置(北中城村) <p>【目標の達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="510 443 1393 611"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定農業者</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>農業法人</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さとうきび生産農家の減少と高齢化対策 ・株出管理、肥培管理、雑草防除作業を適期に行う受託組織の育成 ・一筆面積が小さく、機械の作業幅に合わない狭い畦幅や、機械のUターンに必要な枕地を設けず圃場端までの植付けが多い 		H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	認定農業者	7	5	6	10	15	22	22	21	農業法人	11	10	10	10	14	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・地区協議会事業でハーベスター収穫後の株出管理作業の受委託を支援し、適期管理による単収向上を図る ・さとうきび生産の機械作業の効率について生産農家への理解と作業受託組織の協力を求める ・生産意欲の高い担い手農家および生産法人の育成を支援する 																											
	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4																																																
認定農業者	7	5	6	10	15	22	22	21																																																
農業法人	11	10	10	10	14	-	-	-																																																
<p>② 農業共済制度への加入促進</p>	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ配布各さとうきび生産組合総会における加入促進の周知 ・さとうきび生産者圃場植付調査(OCR調査)の際に、加入の斡旋 <p>【目標の達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="510 935 1393 1337"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27 (28年産)</th> <th>H28 (29年産)</th> <th>H29 (30年産)</th> <th>H30 (R元年産)</th> <th>R元 (R2年産)</th> <th>R2 (R3年産)</th> <th>R3 (R4年産)</th> <th>R4 (R5年産)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加入戸数(戸)</td> <td>475</td> <td>460</td> <td>409</td> <td>311</td> <td>281</td> <td>253</td> <td>261</td> <td>226</td> </tr> <tr> <td>戸数引受率(%)</td> <td>37.9</td> <td>39.4</td> <td>37.4</td> <td>30.5</td> <td>30.3</td> <td>26.5</td> <td>28.3</td> <td>23.6</td> </tr> <tr> <td>引受面積(ha)</td> <td>254</td> <td>246</td> <td>217</td> <td>142</td> <td>141</td> <td>123</td> <td>128.1</td> <td>114.1</td> </tr> <tr> <td>面積引受率(%)</td> <td>43.6</td> <td>45.1</td> <td>43.1</td> <td>33.4</td> <td>32.4</td> <td>28.3</td> <td>29.9</td> <td>26.3</td> </tr> <tr> <td>共済金額(千円)</td> <td>229,160</td> <td>205,522</td> <td>186,440</td> <td>126,737</td> <td>125,360</td> <td>11,608</td> <td>98,257</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営規模が小さいため加入意欲が低く、共済制度加入への関心が薄い ・農業共済の重要性の周知 <p style="text-align: right;">注) R4、R5年産の数値については概算値</p>		H27 (28年産)	H28 (29年産)	H29 (30年産)	H30 (R元年産)	R元 (R2年産)	R2 (R3年産)	R3 (R4年産)	R4 (R5年産)	加入戸数(戸)	475	460	409	311	281	253	261	226	戸数引受率(%)	37.9	39.4	37.4	30.5	30.3	26.5	28.3	23.6	引受面積(ha)	254	246	217	142	141	123	128.1	114.1	面積引受率(%)	43.6	45.1	43.1	33.4	32.4	28.3	29.9	26.3	共済金額(千円)	229,160	205,522	186,440	126,737	125,360	11,608	98,257	-	<ul style="list-style-type: none"> ・農業共済のパンフレットやチラシを活用し、加入の斡旋を継続して行う ・栽培管理改善による単収の向上
	H27 (28年産)	H28 (29年産)	H29 (30年産)	H30 (R元年産)	R元 (R2年産)	R2 (R3年産)	R3 (R4年産)	R4 (R5年産)																																																
加入戸数(戸)	475	460	409	311	281	253	261	226																																																
戸数引受率(%)	37.9	39.4	37.4	30.5	30.3	26.5	28.3	23.6																																																
引受面積(ha)	254	246	217	142	141	123	128.1	114.1																																																
面積引受率(%)	43.6	45.1	43.1	33.4	32.4	28.3	29.9	26.3																																																
共済金額(千円)	229,160	205,522	186,440	126,737	125,360	11,608	98,257	-																																																

(2)生産基盤の強化

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																																				
<p>①気象災害に強い生産基盤の整備</p>	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北中城村の荒蕪地解消で造成した畑の排水不良条件改善のため、フィールドリッパーによる暗渠作業を行い、種苗圃を設置 ・うるま市宮城島で点滴かん水を実施(夏植と株出で単収向上) <p>【目標の達成状況】 (単位:%)</p> <table border="1" data-bbox="510 448 1395 684"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27 実績</th> <th>H28 実績</th> <th>H29 実績</th> <th>H30 実績</th> <th>R元 実績</th> <th>R2 実績</th> <th>R3 実績</th> <th>R4 見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ほ場整備率</td> <td>56.8</td> <td>56.8</td> <td>56.8</td> <td>56.8</td> <td>56.8</td> <td>56.8</td> <td>56.8</td> <td>67.8</td> </tr> <tr> <td>水源整備率</td> <td>42.2</td> <td>50.0</td> <td>50.0</td> <td>50.0</td> <td>50.0</td> <td>50.0</td> <td>52.5</td> <td>61.4</td> </tr> <tr> <td>畑地かんがい整備率</td> <td>37.1</td> <td>39.3</td> <td>39.3</td> <td>39.9</td> <td>39.9</td> <td>39.9</td> <td>39.9</td> <td>46.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かん水経費や労力負担意識が大きく、製糖工場や土地改良区で貸し出すスプリンクラーやかん水機材利用者が少ない ・降雨時に湿害によってさとうきびの発芽や生育が不良になる北中城やうるま市の畑での排水改善対策 ・防風林帯および防風障設置への意識が希薄 		H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 実績	R4 見込	ほ場整備率	56.8	56.8	56.8	56.8	56.8	56.8	56.8	67.8	水源整備率	42.2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	52.5	61.4	畑地かんがい整備率	37.1	39.3	39.3	39.9	39.9	39.9	39.9	46.6	<ul style="list-style-type: none"> ・点滴かん水の普及が進まない理由の一つである、かん水終了後の点滴チューブの回収方法を工夫する ・かんがい施設整備地域では、梅雨明け直後からの早期かん水を推進する ・北中城村でのフィールドリッパーの排水改善効果実証PRと中部地区でのフィールドリッパーの利用拡大
	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 実績	R4 見込																														
ほ場整備率	56.8	56.8	56.8	56.8	56.8	56.8	56.8	67.8																														
水源整備率	42.2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	52.5	61.4																														
畑地かんがい整備率	37.1	39.3	39.3	39.9	39.9	39.9	39.9	46.6																														

<p>②機械化一貫体系の確立</p>	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動操舵トラクター、ハーベスター採苗、ピレットプランター植付実演会を北中城村、読谷村で開催 ・うるま市宮城島の葉たばこ廃作に伴うさとうきび転作に対する令和4年度ハーベスター事業導入支援 ・小型乗用トラクター作業の効率化を図るため宮城島で150cm畦幅の展示圃を設置 <p>【目標の達成状況】 (単位:台、ha、%)</p> <table border="1" data-bbox="510 312 1393 481"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハーベスタ 稼働台数</td> <td>32</td> <td>39</td> <td>46</td> <td>41</td> <td>34</td> <td>42</td> <td>41</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>ハーベスタ 収穫面積</td> <td>221</td> <td>262</td> <td>269</td> <td>272</td> <td>229</td> <td>240</td> <td>254</td> <td>298</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハーベスターの老朽化や故障による製糖期のハーベスター稼働調整、応援 ・機械植付およびハーベスター収穫時に生じる欠株の発生防止と対策 ・単収向上による作業委託コスト低減 		H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	ハーベスタ 稼働台数	32	39	46	41	34	42	41	42	ハーベスタ 収穫面積	221	262	269	272	229	240	254	298	<ul style="list-style-type: none"> ・機械化作業に適する畦幅や枕地の設置などを推進する ・株出管理は補植で欠株をなくし、雑草防除もセットで行い、単収を上げ、農家収益の向上を図る ・うるま市における葉たばこからさとうきびへの転作及び石川地区での急激な面積拡大に対応した小型ハーベスターの導入
	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4																					
ハーベスタ 稼働台数	32	39	46	41	34	42	41	42																					
ハーベスタ 収穫面積	221	262	269	272	229	240	254	298																					
<p>③地力の増進</p>	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶏糞堆肥の事業活用による利用推進 ・収穫後夏植準備圃場に緑肥クロタラリアを播種し、粉碎をJA対策室のストローチョッパーで実施(宮城島) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑肥栽培と堆肥利用による腐植率の向上 ・緑肥の活用促進を図るための緑肥粉碎用ストローチョッパーの導入 ・マニユアスプレッターの導入による堆肥や土壌改良資材の散布 	<ul style="list-style-type: none"> ・さとうきびの生育不良等、要望のあった生産農家の土壌分析を行い、単収向上に資する ・低単収地域へ堆肥利用、緑肥播種を推進する 																											

(3) 技術対策

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																																																																																	
①病害虫対策	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA、ゆがふ製糖、市町村でガイドー、野そ剤等農薬購入補助 ・うるま市、読谷村の黒腐病による発芽不良を種苗管理センター、地区きび協や製糖工場と被害状況を確認し、対策を提示 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関職員と農家への病害虫発生対策の情報共有 ・農薬の保管等GAP推進 ・栽培管理の粗放化に起因する雑草、メイチュウ類、バッタ類の発生防止対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・JA、工場、市町村で実施する農薬補助の継続と共に病害虫発生情報を関係機関で共有して、共に対策に取り組む ・病害虫対策はチラシ配布を中心に適用農薬の種類、使用方法、ドリフト対策などの周知、適正使用を呼び掛ける 																																																																																	
②優良品種の選択・普及	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県さとうきび優良種苗安定確保事業について原苗ほ及び採苗ほの要望品種を市町村と協議し、品種の普及拡大を図った ・中部地区きび協の補正事業で種苗法との関連で農林8号の一芽苗を要望する地域へ配布した <p>【目標の達成状況】 (単位:%)</p> <table border="1" data-bbox="510 767 1395 1102"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27 (実績)</th> <th>H28 (実績)</th> <th>H29 (実績)</th> <th>H30 (実績)</th> <th>R元 (実績)</th> <th>R2 (実績)</th> <th>R3 (実績)</th> <th>R4 (実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農林8号</td> <td>16.4</td> <td>23.1</td> <td>21.7</td> <td>18.5</td> <td>16.8</td> <td>14.6</td> <td>14.3</td> <td>9.2</td> </tr> <tr> <td>農林15号</td> <td>10.4</td> <td>10.8</td> <td>6.0</td> <td>5.6</td> <td>5.7</td> <td>5.5</td> <td>5.4</td> <td>5.8</td> </tr> <tr> <td>農林17号</td> <td>3.7</td> <td>4.0</td> <td>3.7</td> <td>2.7</td> <td>1.8</td> <td>1.6</td> <td>1.3</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>農林20号</td> <td>2.6</td> <td>2.0</td> <td>1.7</td> <td>1.2</td> <td>0.7</td> <td>0.7</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>農林21号</td> <td>6.8</td> <td>5.8</td> <td>5.7</td> <td>4.8</td> <td>4.5</td> <td>4.9</td> <td>4.7</td> <td>4.1</td> </tr> <tr> <td>農林25号</td> <td>15.3</td> <td>16.9</td> <td>14.7</td> <td>12.5</td> <td>10.5</td> <td>8.6</td> <td>8.5</td> <td>5.8</td> </tr> <tr> <td>農林27号</td> <td>1.0</td> <td>2.7</td> <td>6.7</td> <td>7.5</td> <td>9.1</td> <td>13.7</td> <td>14.5</td> <td>15.8</td> </tr> <tr> <td>農林28号</td> <td>0.7</td> <td>1.7</td> <td>3.7</td> <td>5.8</td> <td>8.0</td> <td>7.3</td> <td>6.9</td> <td>8.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原苗圃の雑草、メイチュウ発生防止管理の徹底による良質苗の生産 ・採苗圃からの各農家への平等な苗配布 ・長期株出に対する優良品種拡大 		H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R元 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)	農林8号	16.4	23.1	21.7	18.5	16.8	14.6	14.3	9.2	農林15号	10.4	10.8	6.0	5.6	5.7	5.5	5.4	5.8	農林17号	3.7	4.0	3.7	2.7	1.8	1.6	1.3	0.9	農林20号	2.6	2.0	1.7	1.2	0.7	0.7	0.4	0.4	農林21号	6.8	5.8	5.7	4.8	4.5	4.9	4.7	4.1	農林25号	15.3	16.9	14.7	12.5	10.5	8.6	8.5	5.8	農林27号	1.0	2.7	6.7	7.5	9.1	13.7	14.5	15.8	農林28号	0.7	1.7	3.7	5.8	8.0	7.3	6.9	8.1	<ul style="list-style-type: none"> ・原苗ほ設置が困難な市町村の苗ほを中部地区きび協が主導して、一元管理できるよう各市町村と調整、実施 ・有望品種の展示ほを継続設置し、収量・品質など品種特性、栽培方法の留意点の周知を図る ・各市町村の種苗ほの管理状況を確認し、育苗管理に協力し、生産農家には苗確保のため苗ほの設置を促す
	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R元 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)																																																																											
農林8号	16.4	23.1	21.7	18.5	16.8	14.6	14.3	9.2																																																																											
農林15号	10.4	10.8	6.0	5.6	5.7	5.5	5.4	5.8																																																																											
農林17号	3.7	4.0	3.7	2.7	1.8	1.6	1.3	0.9																																																																											
農林20号	2.6	2.0	1.7	1.2	0.7	0.7	0.4	0.4																																																																											
農林21号	6.8	5.8	5.7	4.8	4.5	4.9	4.7	4.1																																																																											
農林25号	15.3	16.9	14.7	12.5	10.5	8.6	8.5	5.8																																																																											
農林27号	1.0	2.7	6.7	7.5	9.1	13.7	14.5	15.8																																																																											
農林28号	0.7	1.7	3.7	5.8	8.0	7.3	6.9	8.1																																																																											

<p>③栽培技術の普及等</p>	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピレットプランター等の機械植付や株出管理等の実演会を行い、機械利用による適期作業を推進 ・さとうきび株出管理作業について、実証展示圃の設置、現場指導や講習会を実施 ・うるま市さとうきび生産振興協議会による株出管理作業受委託を支援で適期作業を実施 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梅雨明け直後からのかん水及び干ばつ時のかん水による単収の向上 ・雑草防除のための除草剤散布組織育成 ・中部地区の畑かんがい未整備圃場でのかん水手段の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区さとうきび生産振興協議会による株出管理作業受委託支援を要請し、適期査管理作業を中部全体で実施 ・株出、新植春植及び夏植後の除草剤利用による雑草防除 ・さとうきび株出管理作業について、実証展示圃の設置、現場指導や講習会を実施する
------------------	---	---